

CASBEE_Sapporo2014v1.2 札幌医科大学教育研究施設Ⅲ改築工事		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体					
スコアシート		重点評価項目									評価点	重み係数	評価点	重み係数						
配慮項目		A	B	C	D						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体					
Q 建築物の環境品質																				
Q1 室内環境																	0.40	-	-	3.3
1 音環境																3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 騒音																4.0	0.40	-	-	
1.2 遮音																3.5	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能																3.0	0.30	-	-	
1.2.2 界床遮音性能(軽量衝撃源)		Dr-40以上														4.0	0.30	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr-55以上														3.0	0.20	-	-	
1.3 吸音																4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境																3.4	0.35	-	-	3.4
2.1 室温制御																3.8	0.50	-	-	
2.1.1 室温																3.0	0.60	-	-	
2.1.2 外皮性能		A														5.0	0.40	-	-	
2.1.3 ゾーン別制御性																-	-	-	-	
2.2 湿度制御																3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		外断熱工法の採用とLow-eペアガラスを採用														3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境																2.8	0.25	-	-	2.8
3.1 屋光利用																2.4	0.30	-	-	
3.1.1 屋光率																2.0	0.60	-	-	
3.1.2 方位別開口																-	-	-	-	
3.1.3 屋光利用設備		A														3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策																3.0	0.30	-	-	
3.2.1 屋光制御		A														3.0	1.00	-	-	
3.2.2 眩り込み対策																-	-	-	-	
3.3 照度																3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御																3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境																4.3	0.25	-	-	4.3
4.1 発生源対策																5.0	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質		建材等にF☆☆☆☆の製品を使用														5.0	1.00	-	-	
4.1.2 浮遊粒子状物質																-	-	-	-	
4.2 換気																3.3	0.30	-	-	
4.2.1 換気量		建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍														4.0	0.33	-	-	
4.2.2 自然換気性能																3.0	0.33	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮																3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理																4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		敷地内、全面禁煙														3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御																5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能																-	0.30	-	-	3.3
1 機能性																3.1	0.40	-	-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ																3.0	0.40	-	-	
1.1.1 広さ・収納性																-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応																-	-	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画																3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性																2.5	0.30	-	-	
1.2.1 広さ感・景観																1.0	0.50	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		パースにより内装計画の検証を行っている														4.0	0.50	-	-	
1.2.3 内装計画																4.0	0.30	-	-	
1.3 維持管理																4.0	0.50	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		①②⑥⑧⑩⑪の項目に対応														4.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		②③⑥⑦⑧⑩⑫の項目に対応														4.0	0.50	-	-	
1.3.3 衛生管理業務																-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性																3.5	0.30	-	-	3.5
2.1 耐震・免震																3.8	0.50	-	-	
2.1.1 耐震性		重要度係数 1.25														4.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能																3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数																3.5	0.30	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		劣化軽減に関し等級3(外断熱保護効果、コンクリート品質確保)														5.0	0.20	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		B														3.0	0.20	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		B														4.0	0.10	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		B														3.0	0.10	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B														3.0	0.20	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		B														3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性																2.8	0.20	-	-	
2.4.1 空調・換気設備																3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備																2.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備																3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法																3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備																3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性																3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり																4.6	0.30	-	-	
3.1.1 階高のゆとり		階高さ4.0m														5.0	0.60	-	-	
3.1.2 空間の形状・自由さ		0.1≦壁長さ比率<0.3、純ラーメン構造によるフレキシブル性														4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり																3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性																3.2	0.40	-	-	
3.3.1 空調配管の更新性																3.0	0.20	-	-	
3.3.2 給排水管の更新性		構造躯体を痛めることなく修繕・更新できる														4.0	0.20	-	-	
3.3.3 電気配線の更新性																3.0	0.10	-	-	
3.3.4 通信配線の更新性																3.0	0.10	-	-	
3.3.5 設備機器の更新性																3.0	0.20	-	-	
3.3.6 バックアップスペースの確保																3.0	0.20	-	-	

CASBEE Sapporo2014v1.2 札幌医科大学教育研究施設Ⅲ改築工事		重点評価項目		■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理	
スコアシート		重点評価項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.1	
1 生物環境の保全と創出				C		2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮				C		4.0	0.40	-	-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D	3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				BPI=0.78	5.0	0.20	-	5.0	
2 自然エネルギー利用		A				開閉窓による自然通風	4.0	0.10	-	4.0	
3 設備システムの高効率化						BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.3	0.50	-	3.3	
3a 集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				BEI=0.99	3.3	1.00	-		
3c 集合住宅の評価		A					-	-	-		
4 効率的運用							3.5	0.20	-	3.5	
4.1 集合住宅以外の評価							3.5	1.00	-		
4.1 モニタリング		A				学校全体での管理体制	3.0	0.50	-		
4.2 運用管理体制		A					4.0	0.50	-		
4.1 集合住宅の評価							-	-	-		
4.1 モニタリング		A					-	-	-		
4.2 運用管理体制		A					-	-	-		
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.3	
1 水資源保護							3.0	0.20	-	3.0	
1.1 節水							3.0	0.40	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-		
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	0.70	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-		
2 非再生性資源の使用量削減							3.3	0.60	-	3.3	
2.1 材料使用量の削減							2.0	0.11	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B				3.0	0.22	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B				3.0	0.22	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B				3.0	0.22	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B				-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			仕上げ材料と構造の分別が可能	5.0	0.22	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.6	0.20	-	3.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						特定第1種指定化学物質を含まない接着剤を使用	5.0	0.30	-		
3.2 フロン・ハロンの回避							3.0	0.70	-		
1 消火剤			B				-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)			B				3.0	0.50	-		
3 冷媒			B				3.0	0.50	-		
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			B			スコア=3.1	3.1	0.33	-	3.1	
2 地域環境への配慮							3.0	0.33	-	3.0	
2.1 大気汚染防止			B				3.0	0.25	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D		3.0	0.50	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制							3.0	0.25	-		
1 雨水排水負荷低減			B				3.0	0.25	-		
2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.25	-		
3 交通負荷抑制							3.0	0.25	-		
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D		3.0	0.25	-		
3 周辺環境への配慮							3.2	0.33	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-		
1 騒音							3.0	0.50	-		
2 振動							-	-	-		
3 悪臭							3.0	0.50	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							3.0	0.40	-		
1 風害の抑制							3.0	0.70	-		
2 砂塵の抑制							3.0	-	-		
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	-		
3.3 光害の抑制							4.4	0.20	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						屋外照明、広告照明なし	5.0	0.70	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	-		